

SOC320 都市と農村

3年 1,2クォーター

担当教員 月原 敏博

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 一部導入

単位数 2

曜日・時限 水曜日・2時限

授業概要

この授業では、人間集団の基本的な生活の場である集落、すなわち都市と農村（いわゆる村落、農山漁村）を理解するのに必要な観点と方法を学ぶ。都市と農村のそれぞれについて、都市地理学・農村地理学の知見をもとに、その形態と機能、立地と土地利用の分布パターンを検討し、都市・農村それぞれの実態と課題を把握する。さらに、都市－農村間の相互作用関係から両者を統一的に理解することを目指す。

到達目標

学生は、現代の都市システムと農村のあり方を理解し、その変化を把握するために必要な、都市地理学および農村地理学の基礎知識を獲得することが目標となる。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

特定の教科書は用いず、担当者が作成したプリントを配布して講述するが、学生には以下を主な推薦図書とする。

- ・ポール・ノックスほか『都市社会地理学』，古今書院，2013年（改訂新版）。
- ・森川洋，『日本の都市化と都市システム』，大明堂，1998年。
- ・浮田典良（編）『日本の農山漁村とその変容』，大明堂，1989年。

授業の方法

この授業は講義形式で行う。担当教員は講義を行い、定期的にレポート課題を与える。また、授業中にはその課題に関するディスカッションの機会をもつ場合がある。

成績評価

大きく2つの面から評価する。1つは授業態度と授業参加の積極性であり、もう1つは授業進行に応じて提示する課題に関わる評価である。後者は2つの面からなり、課題に関するレポートの提出物と、授業中に行われるその課題に関するディスカッションへの参加状況である。

成績

50%	授業態度と授業参加の積極性
30%	レポート課題の提出物
20%	課題に関するディスカッション

授業スケジュール

第1回：

授業概要。都市地理学及び農村地理学の基本（1）集落とは？
Basic Knowledge on Urban and Rural Geography (1)

第2回：

都市地理学及び農村地理学の基本（2）集落の形態
Basic Knowledge on Urban and Rural Geography (2)

第3回：

都市地理学及び農村地理学の基本（3）集落の機能

Basic Knowledge on Urban and Rural Geography (3)

第4回：

中心地論と都市システム（1）

Central Place Theory and Urban System (1)

第5回：

中心地論と都市システム（2）

Central Place Theory and Urban System (2)

第6回：

中心地論と都市システム（3）

Central Place Theory and Urban System (3)

第7回：

立地論と交通・輸送システム（1）

Locational Theory and Traffic/Transportation System (1)

第8回：

立地論と交通・輸送システム（2）

Locational Theory and Traffic/Transportation System (2)

第9回：

立地論と交通・輸送システム（3）

Locational Theory and Traffic/Transportation System (3)

第10回：

都市と農村の相互作用（1）

Interrelation between Urban and Rural Area (1)

第11回：

都市と農村の相互作用（2）

Interrelation between Urban and Rural Area (2)

第12回：

都市と農村の相互作用（3）

Interrelation between Urban and Rural Area (3)

第13回：

福井県域における農業・農村の多面的機能（1）

Functions carried by Farmers and Rural Area of Fukui (1)

第14回：

福井県域における農業・農村の多面的機能（2）

Functions carried by Farmers and Rural Area of Fukui (2)

第15回：

福井県域における農業・農村の多面的機能（3）

Functions carried by Farmers and Rural Area of Fukui (3)

事前・事後学習

-
- 事前学習：前回の授業で提示した専門用語や概念について、推薦図書やWEBページを利用して予め調べてくること（作業に要する時間は1時間程度）。
 - 事後学習：前回の授業で課された作業課題（レポート課題となる時もある）をまずこなすこと。この作業には授業の復習の意義もある。作業課題を次回の授業までに提出する（作業に要する時間は通常の週では1時間程度。レポート課題の場合は数週間の場合の間に数時間から5時間程度の作業時間を要する）。